



# せたがや区議会だより

No.203

平成18年(2006年)1月1日  
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27  
TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030  
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

## 子ども・子育て総合センター条例などを可決

## 第4回 定例会



よーいドン！（二子玉川緑地運動場）

# 迎春

新年を迎えて  
世田谷区議会議長 菅沼つとむ

あけましておめでとうございませう。新年を迎えるに当たり、区民の皆様がますますのご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。  
区は昨年、魅力あふれる安全・安心のまちの実現を目指し、向こう10年間の基本計画をスタートさせました。区議会においても、区の徹底した行財政改革を促し、計

画の着実な実行に努めてまいります。また、都区の役割の見直しによる分権の推進など、山積する課題の解決にも全力を尽くします。  
景気には明るい兆しが見えつつあるものの、まだまだ厳しい状況は変わりません。区内産業の活性化を図るとともに、子育て支援や教育施策の充実、都市基盤整備などを、区民福祉の向上に必要な対策を講じてまいります。  
昨年9月4日の集中豪雨では、

区内でも多くの方が被災され、改めて災害時の初動態勢の重要性を痛感させられました。今後、災害の予防から復興までを着実に進めるための体制を整え、区民や事業者と協働した災害対策を強化します。  
区議会は、区民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、いつまでも住み続けたいまち世田谷の構築に全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から39件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

#### ●条例の新設 1件

○子ども・子育て総合センター条例 (全員賛成)

子どもの健全育成と家庭での子育てを支援するため、宮坂3-15-15にセンターを設置する。

#### ●条例の改正 19件

○区長等の給料条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○区議の報酬・費用弁償条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○監査委員の給与条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○教育長の給与・勤務時間条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○職員給与条例  
以上4件は、期末手当の額に係る規定を変更した。

○職員給与条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○幼稚園教育職員給与条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○地区会館条例  
以上2件は、民間給与との実質的な均衡を図るため給料表を改正したことなど。

○地区会館条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○区民会館条例  
以上2件は、利用料金制導入のため規定を整備する。

○区民会館条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○ひとり親家庭の医療費助成条例 (全員賛成)

○子ども医療費助成条例 (全員賛成)

○国民健康保険法施行令の改正によるもの。

○国民健康保険条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○身体障害者デイサービスセンター1条例 (全員賛成)

○経堂身体障害者デイサービスセンター(経堂3-6-24)を新設することなど。

○公園条例 (全員賛成)

○公園条例  
上野五丁目公園(上野五-13-13)を新設した。

○地区計画区域内の建築物制限条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、新保守、虹、無所属  
反対 共産、無党派

○地区計画区域内の建築物制限条例  
桜上水三・四丁目中部地区地区整備計画区域を新たに対象とした。

○区営住宅管理条例

(全員賛成)  
都から移管される次の住宅を区営住宅とする。

| アパート名   | 所在地        |
|---------|------------|
| 上馬四丁目   | 上馬4-37-1・2 |
| 桜丘五丁目第二 | 桜丘5-45-1・2 |

○特定公共賃貸住宅条例 (全員賛成)  
都から移管される次の住宅を特定公共賃貸住宅とする。

| 住宅名     | 所在地      |
|---------|----------|
| 上馬四丁目   | 上馬4-37-1 |
| 桜丘五丁目第二 | 桜丘5-45-2 |

○自転車条例 (全員賛成)  
次の自転車等駐車場を新設する。

| 駐車場名  | 所在地       |
|-------|-----------|
| 烏山南第四 | 南烏山5-20-1 |
| 芦花公園北 | 南烏山3-2-1  |
| 芦花公園南 | 南烏山2-38-6 |

○清掃・リサイクル条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○一般廃棄物収集運搬業の更新許可手数料区分を新設することなど。

○条例の廃止 1件  
○保養所条例  
賛成 自民、公明、区民連、政策、改革派、無党派、新保守、虹、無所属  
反対 共産

○世田谷来宮荘を廃止する。

●指定管理者の指定 10件  
○区民会館 (全員賛成)

○区民会館  
世田谷区民会館ほか8館の指定管理者を指定した。

○区民センター (全員賛成)

○区民センター  
太子堂区民センターほか11館の指定管理者を指定した。

○区民センター  
太子堂区民センターほか11館の指定管理者を指定した。

○区民センター  
太子堂区民センターほか11館の指定管理者を指定した。

8ページへ続く

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

# 平成18年(2006年)年頭に当たって

平成17年12月21日現在

## 自由民主党 世田谷区議団

明けましておめでとございます。皆様には、日ごろよりご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。

特に、昨年の衆議院選挙においては「官から民へ」の改革を訴えた我が党に対し、多大なご支持を頂きましたことに、心よりお礼申し上げます。

既に国政では、郵政民営化関連法も成立し、改革続行内閣とも称する第3次小泉改造内閣において「小さな政府」の実現を目指し、国家公務員の定数削減など、さらなる改革に取り組んでおります。私たちは、この選挙結果に応えるため、区政においても、時代に合った行政へと転換させるための改革に全力で邁進する決意でございます。

区政は、いまだ、景気低迷の影響により、厳しい財政運営を強いられています。同じ環境に置かれている多くの民間企業では、こ

の時代を生き抜くために、血のじむ努力をされています。

この痛みを思えば、区民生活を守る区民に最も身近な自治体として、区は、その責任を果たすために、自らが身を削る覚悟を持ち、今こそ、お役所的と言われる体質を改めなければなりません。

我が党は、常々「官から民へ」の流れによる区政の抜本的改革を訴え、その断行を求めてきました。同時に、そこで生まれる余財を、行政でしか成し得ない施策に効果的・効率的に投入していくよう求めてきました。

とりわけ、予算編成に当たっては、「職員削減」「民間委託の推進」「区民負担の公正性」「職員の意識改革と資質の向上」の4つを区政改革の柱に据え、限りある財源を有効に配分するよう強く求めています。

その結果、平成9年度以降、約890名もの職員削減を初め、平成17年度当初予算では、補助金の見直しや、外郭団体関連の改善などにより約25億円の経費を削減し、新たな課題へ取り組んできました。

なかでも安全安心の観点からの都市基盤の整備や高齢者安心コールなどの実現に努めてきました。

責任ある区議会第一党として、引き続き、区政改革に力を注ぐ一方で、さらに今後は、増加する犯罪や自然災害の対策、少子高齢社会の到来や次世代を担う子どもへの対応、地球温暖化による環境問題など、世田谷の将来を見据え、待ったなしで取り組みが求められる以下の3つの課題を最重点施策と位置付けました。

- 防災・防犯対策の強化など安全・安心なまちづくりの実現
- 在宅子育て支援など子育て支援と教育の充実
- 緑や自然エネルギー活用など環境対策の充実

私たち自由民主党世田谷区議団は、安全で安心して暮らせる世田谷、将来に夢が持てる世田谷の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。区民の皆様のご意見やお力添えをお願いいたします。最後に心よりご祈念申し上げます。

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| <br>お ば やす のぶ<br>大場 康 宣<br>上馬 2 - 1 - 7<br>☎5486 - 6800               | <br>い そ は た こう じ<br>五十畑 孝 司<br>経堂 1 - 11 - 4 五十畑ビル501<br>☎3429 - 0238 | <br>い し づ か いっ しん<br>石 塚 一 信<br>赤堤 5 - 30 - 12<br>☎3322 - 4472   | <br>あ か ざ わ ま さ ひこ<br>赤 沢 雅 彦<br>砧 3 - 17 - 6 - 204<br>☎5727 - 3341   |
| <br>し ょ ま ま よ し ひろ<br>下山 芳 男<br>上馬 4 - 2 - 5<br>☎3418 - 2869          | <br>し し と の り お<br>宍 戸 教 男<br>松原 3 - 29 - 18<br>☎3323 - 7223          | <br>こ は た と し お<br>小 畑 と し 敏 雄<br>成城 4 - 19 - 7<br>☎3484 - 8848  | <br>か わ か み か ず ひこ<br>川 上 和 彦<br>北山 6 - 18 - 17 - 303<br>☎5384 - 5182 |
| <br>に い た み つ あ き<br>新田 勝 己<br>等々力 5 - 25 - 16 - 202<br>☎5706 - 8487 | <br>す ず き し ゅん じ<br>鈴 木 昌 二<br>瀬田 4 - 7 - 11 - 606<br>☎3709 - 3422   | <br>す が め す と む<br>菅 沼 つ と む<br>桜新町 1 - 14 - 18<br>☎3428 - 2161 | <br>し ん か わ か つ じ<br>新 川 勝 二<br>上馬 5 - 19 - 16 - 301<br>☎3429 - 5650 |
| <br>やま の う ち あ き<br>山 内 彰<br>池尻 4 - 29 - 18<br>☎3411 - 1488         | <br>ひ ら や ま は ち ろ う<br>平 山 八 郎<br>祖師谷 5 - 3 - 2<br>☎3482 - 5700     | <br>は ら だ ま さ ゆ き<br>原 田 正 幸<br>奥沢 3 - 12 - 7<br>☎3720 - 2576  | <br>し む づ い ち<br>島 山 晋 一<br>大原 1 - 16 - 3<br>☎3466 - 7005           |

## せたがや政策会議

明けましておめでとございます。時代の変化と共に大きな改革が求められる中、新党派結成3年となりました。「せたがや政策会議」は、政策、実行力の両面から、区議会、会派一丸となって力いっぱい頑張っております。

1、行政改革、次世代子ども支援策、議会改革など、新しい時代にふさわしい区政の実現に向けて、一人ひとりの専門性をいかし、区民の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。

さらなる実行力のある会派として、行政をしっかりとチェックし、慣例にとらわれず、自由な立場で政策提言することをお約束します。「せたがや政策会議」に、今後ともご期待下さい。

|  |   |
|--|---|
| <br>こ い づ み た ま み<br>小泉 たま子<br>宇奈根 3 - 14 - 28<br>☎3415 - 0305 | <br>お お ば ま さ ひろ<br>大庭 正 明<br>粕谷 3 - 15 - 3<br>☎3307 - 1179        |
| <br>と み く にな が<br>富永 早 苗<br>世田谷 3 - 16 - 16<br>☎3429 - 4455    | <br>た な か ゆ う こ<br>田 中 優 子<br>松原 4 - 34 - 20 - 309<br>☎3322 - 8131 |

## 世田谷改革派

改革闘争宣言 2人の自民党議員の主張による必要ない40億円の支所の改築は業界への利益誘導だと追及したら自民党が議員を名指し批判をしたと反撃してきた。言論は自由、改革の抵抗勢力は叩く。



お ね だ  
忠 雄  
千歳台 2 - 14 - 15  
☎3482 - 0033

## 無党派市民

迎春 原告適格拡大を認めた小田急最高裁大法廷判決は、土建国家解体の画期的勝利。高架・道路・高層開発の見直しで環境共生都市を。違法建築根絶。54号線は要らない。守れ！文化と路地の下北沢。



ゆ き ひろ  
泰 之  
代田 4 - 24 - 15 - 102  
☎5355 - 1283

## 新保守

謹賀新年 国が大きく動いている今こそ区政改革の好機だ。その動向をしっかりとらえながら、あるべき社会像を世田谷から発信する、そんな誇り高い区政を目指し、今年も全力で取り組んでまいります。



か み し ま よ し も り  
上島よしもり  
駒沢 1 - 2 - 7  
☎5433 - 5166

# 新年あけましておめでとうございます

## 公明党 世田谷区議団

あけましておめでとうございます。

昨年は、東京都議会議員選挙・衆議院議員選挙におきまして、皆様より絶大なご支援を賜り深く感謝申し上げます。

また、昨年は自然災害が各地を襲い被災された皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

先の衆議院総選挙では、郵政民営化を改革の入口とする、小泉政権の「官から民へ」「民間でできることは民間に」という改革路線が大きくなるとなりました。

わが党は「官から民へ」の具体的な道筋として、行政の仕事を一役所でしかできない仕事か「民間でもできる仕事」か、を一つ一つ検証する「事業の仕分け」を行い、徹底したムダ遣いを省くため、大胆な統廃合や民間委託を行うべきと考えます。

さらに、子育てを地域や社会全体で支える（チャイルドフアースト社会）システム作りも急務です。

|   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| <br>岩本 徹昌<br>南烏山 3-19-19<br>☎3309-2832 | <br>市川 康憲<br>等々力 7-24-15<br>☎3704-8095 | <br>板井 和道<br>玉堤 1-16-28<br>☎3704-8405   | <br>飯塚 和道<br>下馬 5-7-6<br>☎3410-2757    |
| <br>谷 逸子<br>若林 4-1-9-202<br>☎3795-0430 | <br>高橋 昭彦<br>赤堤 2-30-12<br>☎3327-0443  | <br>佐藤 弘人<br>千歳台 3-21-14<br>☎3482-7732  | <br>栗林 のり子<br>成城 9-31-20<br>☎3483-8761 |
| <br>諸星 養一<br>弦巻 1-28-18<br>☎3426-7197 | <br>増田 信之<br>大原 2-21-2<br>☎5376-9711  | <br>長谷川 義樹<br>世田谷 1-39-7<br>☎3420-8792 |   |

具体的には、子育ての精神的・経済的な負担軽減や一時保育の拡充など全力で取り組んでまいります。

また、今回発覚した耐震構造偽装問題は、移転先の確保など区民の不安解消に努め、国・都と連携し今後の対策を強化します。

当面する行政課題においては、以下の諸課題に取り組みます。

- 安心・安全の街づくり（水害、防犯、耐震対策の強化・交通安全対策の推進など）
- 教育改革と学校整備（区独自の幼保一元化施設、小学校のエアコ導入、学校の耐震化促進など）
- トイレの整備（暖房便座やベビシートなどの設置など）
- バリアフリーの充実（バス停ベンチの拡充、街の段差解消など）
- 介護保険制度の充実（地域ごと介護予防施設の整備など）
- 文化芸術振興条例の制定
- 図書館の開館時間延長など

「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」この精神こそ公明党の原点です。政治の主体者は、庶民・大衆です。どこまでも庶民の側に立って区政に取り組んでまいります。

## 民主党・生活者ネット 社民党世田谷区民連合

新年あけましておめでとうございます。昨年、民主党、生活者ネットワーク、社民党は新会派「世田谷区民連合」を結成いたしました。私達は区民の皆さんと同じ目線で、議会改革をはじめ公務員制度改革など世田谷区が直面する様々な課題解決と、区民が主役の社会実現に向け引き続き真摯に取り組んでまいります。

私達の政策提言の成果は、政策立案段階からの情報提供と区民の参画を具現化するパブリックコメントの導入や、昨今の都市型集中豪雨への対策を含め、地震や風水害に対応する災害に強いまちづくりを、地域住民とともにまちづくりを進める「災害対策条例」の制定に向けた取り組みで、あらゆる角度から区民の安心確保と信頼にこたえるものです。

本年はさらに自治体の憲法と言われる「自治基本条例」の制定や、

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <br>桜井 征夫<br>経堂 4-34-16-325<br>☎3426-7291 | <br>桜井 純子<br>上祖師谷 5-20-5<br>☎3326-9665   | <br>稲垣 まさよし<br>玉川台 2-11-13-405<br>☎5758-7400 | <br>あべ 力也<br>岡本 3-18-22-103<br>☎5491-8218 |
| <br>羽田 圭二<br>野毛 3-14-1-306<br>☎3702-3550  | <br>西崎 光子<br>砧 6-20-18-214<br>☎3749-0377 | <br>竹村 津絵<br>中町 4-1-8<br>☎3703-0451          | <br>すがや やすこ<br>南烏山 6-13-31<br>☎3305-5271  |
| <br>吉田 恵子<br>駒沢 2-18-4-201<br>☎5430-9699  | <br>山木 きょう子<br>下馬 1-29-6<br>☎5712-3245   |   |  |

少年高齢化が進む中で子育てや介護の支援といった課題解決のため福祉施策の充実はもちろんのこと、男女がともにいきいきと生活できる社会の実現に向け「男女共同参画条例」の制定を目指します。

現在国では様々な議論がある中、障害者自立支援法が成立し、さらに介護保険法の改定、税制の改正などの動きがありますが、区民にもっとも身近な行政として、世田谷区独自のセーフティネットの構築が急務です。

「世田谷区民連合」は以下の重点項目を通して、より公平で公正な社会を実現していきます。

- 男女共同参画社会の実現
- 自治基本条例の制定
- 多様な保育サービスの確保
- 地域密着型サービスの充実
- 障がい者福祉の充実
- みどりの保全
- 災害に強いまちづくり
- 子どもの人権尊重と教育の充実

本年もご支援とご理解をよろしくお願い申し上げます。

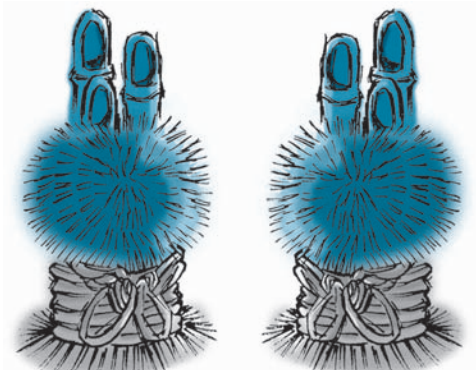
## 日本共産党 世田谷区議団

新年おめでとうございます。

日本共産党は平和憲法を守り、消費税増税など庶民大増税に反対します。

昨年は区政でも、子どもの医療費無料化を小学校3年生まで広げたり、木造住宅の耐震補強工事の補助制度、地下室マンション規制などを実現しました。二子玉川再開発や大型道路、庁舎建替など税金のムダづかいが許しません。区民のくらしや福祉を優先すべきです。区民はじめ、開発優先の熊本区政と対決する「たしかな野党」として、今年も頑張ります。

|  |   |  |
|--|---|--|
| <br>中里 光夫<br>代田 5-3-13泰明荘<br>☎3795-7091 | <br>里吉 ゆみ<br>粕谷 3-26-16<br>☎3309-3792 | <br>岸 志<br>野見 4-28-19<br>☎3415-6244 |
|--|---|--|



## レインボー世田谷

慶春 ちいさな声、社会に届け。社会の中で少数派となる方、そのために困りの方々ほど声は上げにくいものです。誰もが自分らしく暮らせる地域を目指し、多様なニーズを議会に届けて参ります。

|  |
|--|
| <br>上川 あや<br>宮坂 2-8-2<br>☎3439-3384 |
|--|

## 無所属

賀春 難しい世の中になってきましたが、未来を担う子どもをどのように地域で育て合っていくのかが大きな課題です。そのためにも、地域が明るい笑顔で包まれるよう、全力で頑張ります。

|  |
|--|
| <br>青空 こうじ<br>大原 1-13-7<br>☎3485-2726 |
|--|



# 代 表 質 問

自由民主党世田谷区議員

六戸 教男議員

業績による職員給与と制度への転換

**質問** 行政サービスの質の向上と効率化には、人材育成と信賞必罰の人事制度が不可欠だ。年功的な給与制度の転換を求める人事委員会勧告も踏まえ、給与構造改革の流れへの区長の基本的姿勢を問う。区長 区民の理解と納得が得られるよう、抜本的改革を進めている。 **減災を重視した災害対策の推進** **質問** 災害対策では、被害を最小限に抑えることが重要だ。災害対策条例の素案に減災の項目が示されたが、今後、どう取り組むのか。 **危機管理室長** 地域防災計画などで減災対策の具体化に努める。 **お問い合わせセンターの設置** **質問** 区民が満足できる行政サービスの実現に向け、相談窓口や問い合わせ先を一本化すべきだ。行政経営改革計画に示されているお

問い合わせセンターの設置を急げ。 **総務部長** 18年11月に試行運用を開始する予定で準備を進めている。 **地区まちづくりの支援の強化** **質問** 地区まちづくりは、地区ごとに異なる課題の解決に向けた区民主体の活動だ。まちづくり出張所で地区まちづくりを強力に支援し、コミュニティを活性化せよ。 **地域政策部長** 地区の特性に応じた取り組みを積極的に支援する。 **新財団設立後の産業振興策の展開** **質問** 設立予定の仮称産業振興公社には、総合的な中小企業振興策が期待される。区との役割分担のもと、民間の利点を生かし、産学連携事業などを効果的に進めよ。 **区長 助役** 公社ならではの事業をもつて区内産業の活性化を図る。 **廃プラスチックの処理方法の転換** **質問** プラスチックを20年度から資源や可燃ごみとする23区の方針が示された。最終処分場の延命化など、将来を見通した判断と考えるが、区はどう対応していくのか。 **助役** 区民の理解が得られるよう、適時適切な情報提供などに努める。 **在宅子育て支援の拡充** **質問** 親子で多くの時間を過ごせる環境が子どもの人格形成に大切であり、在宅子育ては大変有意義だ。子ども計画で定めた在宅子育て支援を積極的に拡充せよ。 **助役** 地域全体で子育てを応援する体制を整備していく。 **障害者自立支援法施行への対応** **質問** 障害者自立支援法が成立し、負担の公平性などの観点からサービス利用に定率負担が導入される。当事者の不安解消など、地域で安心して自立できるよう万全を期せよ。 **助役** 在宅サービス部長 十分な周知を行い、準備に全力を尽くす。 **健康づくりに関する条例の制定** **質問** 区民がいかに長く健康で活動できるかが、今後の福祉施策の大きな課題だ。策定中の健康づくりに関する条例は、地域全体で健康づくりに取り組む仕組みの充実に役立つものとせよ。



通行の妨げとなっている放置バイク

助役 区民の役割や区の責務などを定め、18年4月の施行を目指す。 **京王線の開かずの踏切の解消** **質問** 地域を分断する開かずの踏切の解消に向け、鉄道の立体化が必要だ。京王線沿線の住民は、立体化推進協議会を設けて活動しているが、区はどう取り組むのか。 **区長** 都や鉄道事業者への働きかけを通じ、早期実現を目指す。 **大型バイク違法駐車対策の強化** **質問** 大型バイクの違法駐車は、歩行者の障害となるなど大変迷惑だ。区有地への駐車場整備や条例制定も視野に、対策を強化せよ。 **助役** 条例の制定が必要と考え、18年度の提案を念頭に検討する。 **就学前の子どもの不安解消** **質問** 就学前の子どもの保護者は、小学校での新しい生活に不安を抱えている。在宅子育て家庭などの不安を解消するため、区立校の公開授業以外の取り組みも充実せよ。 **子ども部長** 仮称子ども・子育て総合センターで多様な事業を行う。

## せたがや政策会議

田中 優子議員

**環境に配慮したオリンピック開催** **質問** 都知事が表明した2016年のオリンピック招致では、2006年2月までに概要計画書案の作成が必要だ。環境に十分配慮した案にすべきだと考えるが、区の見解を示せ。 **区長** 政策経営部長 開催の際は、環境への配慮を都に働きかける。 **オリンピックによるまちづくり** **質問** むだな公共事業には反対だが、オリンピックを招致すれば、エイトライナーなどの都市基盤整備が推進できる。南北交通問題などの課題解決に向けた契機とせよ。 **区長** 招致を契機に、未来志向の世田谷のまちづくりに努める。 **新型インフルエンザへの対応** **質問** 危機管理の観点から、新型インフルエンザの流行を想定した備えが重要だ。SARSと同レベルの指定感染症となった場合に対

応可能な都内の入院病床数を示せ。 **保健所長** 一類感染症となった場合の入院病床数は都内で計8床だ。 **防災に向けた国や都との連携強化** **質問** 国や都に集まる情報を、区の災害対策に活用する仕組みが必要だ。災害情報の迅速な収集と発信に向け、改築後の砧支所に国や都の防災関連組織を誘致せよ。 **助役** 物理的には困難だが、提案の趣旨や発想は生かしていきたい。 **指定管理者の候補者選定のあり方** **質問** 総合運動場と千歳温水プールの指定管理者候補になったスポーツ振興財団は、業務の大半を別会社に委託しており、コスト面などで疑問だ。委託の割合を示せ。 **生涯学習部長** 総合運動場が約88%、千歳温水プールが約86%だ。 **廃プラスチック焼却の実証試験** **質問** 区長会は十分な情報公開もなく、20年度から廃プラスチックの焼却を実施すると決めたが、区民は納得していない。区独自で安全性に対する実証試験を行え。 **清掃・リサイクル部長** 試験内容などは23区と清掃事務組合で検討される。 **ごみを出さない社会の構築** **質問** 最終処分場の延命を目的とする廃プラスチックの焼却実施では、大量廃棄社会への逆戻りが懸念される。ごみを出さない社会の構築を目指し、区は対策を講じよ。 **清掃・リサイクル部長** 適正分別の徹底などにより、一層の減量化を図る。 **清掃事務組合への分担金のあり方** **質問** 清掃事務組合への各区の分担金は人口比で算出されるため、当区のごみ減量努力が反映されず問題だ。ごみ減量努力に見合う分担の仕組みに改めるよう主張せよ。 **清掃・リサイクル部長** ごみ量割に改めるという方向性を23区で確認した。 **生活圏の見直し** **質問** 地区の力を高めるため、学区域や町会などのさまざまな生活圏を統一すべきだ。小学校区を地区の単位とした生活圏の設定に向け、具体的な見直し計画を立てよ。 **助役** 幅広い議論が大切であり、

区としても、今後研究していく。 **区立小教員の独自採用** **質問** 区立小をコミュニティの拠点にするには、地域に愛着を持った教員が不可欠だ。人事権の移譲を見据え、地域の文化に精通した人材の独自採用に取り組め。 **教育長** 国の動向を注視しながら、迅速に対応できる体制を整備する。 **男女共同参画担当大臣への認識** **質問** 少子化・男女共同参画担当大臣の誕生は、真の男女共同参画社会を推進する上で大きな追い風となる。今後の国の動向が区に与える影響への認識を示せ。 **助役** 企業、家庭、地域社会により影響を与えると期待している。 **男女共同参画に関する条例の制定** **質問** 区が設置した男女共同参画基本計画策定委員会での議論は、基本計画に富むべきものだが、今後、条例化の議論も想定されるが、制定の可否をいつ決定するのか。 **生活文化部長** 計画の素案の段階で方向性が出てくると考える。

## 日本共産党世田谷区議員

里吉 ゆみ議員

**所得格差拡大への対応策** **質問** 不安定な雇用などによる所得格差の拡大が社会問題となっており、区内でも生活保護や就学援助の受給者が増加し続けている。区はこの事態にどう対応するのか。 **保健福祉部長** 低所得者などへの配慮を区独自に行っている。 **若者への労働法の普及啓発** **質問** 若者が働く上での不利益から身を守るには、労働法の正しい理解が不可欠だ。労働者の権利をわかりやすく掲載した都の冊子を区が増刷し、広く配布せよ。 **産業振興部長** 区のホームページで案内するなどの対応を図る。 **介護保険料区分の見直し** **質問** 介護保険料の増額が見込まれ、低所得者の負担軽減が急務だ。高額所得者に応分の負担を求め、保険料基準額が抑制できる細かな

保険料区分を区独自に定めよ。 **保健福祉部長** 検討を進め、適切な保険料の段階区分を設定したい。 **障害者自立支援法施行への対応** **質問** 障害者自立支援法が成立し、福祉や医療のサービス利用時に原則1割の自己負担が求められることになった。負担増による利用抑制が起きないよう、対策を講じよ。 **在宅サービス部長** 国の軽減措置などを把握し、区民への周知に努める。 **特別支援教育に向けた教員の増員** **質問** 特別支援教育の実施で心身障害教育の対象者が増える。一人ひとりにきめ細かく対応できるように、国や都に教員の増員を求めよ。 **教育改革部長** 教員の措置について、国や都の動きを注視していく。 **30人学級の実施** **質問** 国が公立小中学校の学級編制権を区市町村に移す方向を示した。関連法が改正され次第、30人学級を実施できるよう準備せよ。 **教育次長** 義務教育標準法の改正に向けた動きを注視していく。



東京湾のごみ最終処分場

11月28日及び29日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

公明党世田谷区議員

増田 信之議員

子育て基金の創設

子育てを支援していく上でも、介護保険制度のような共助の仕組みが必要だ。区は区民などから寄附を募り、子育て施策を充実するための基金を創設せよ。

子ども部長

今後とも検討を重ね、世田谷らしい子育て支援を進める。

出張所見直しに対する区の評価

地域行政制度の再構築には、身近な拠点である出張所の機能確保が重要だ。出張所が見直されてから、人員体制への疑問などの指摘があるが、区の評価はどうか。

地域政策部長

課題は認識しており、具体的改善策を検討中だ。

犯罪ゼロを目指すイベントの実施

刑法犯認知件数が23区中最多である現実を直視し、対策に全力を挙げるべきだ。犯罪を出さない日を設けて、実質的に犯罪を減らすためのイベントを企画せよ。

区長

提案の趣旨を踏まえ、安全安心のまちづくりを強力に進める。

バス停へのベンチの設置拡大

高齢者や障害者の外出を促すには、まちの中のベンチが不可欠だ。すべての人に優しいまちの実現に向け、倍のスピードでバス停のベンチの設置拡大を図れ。

都市整備部長

これまでの取り組みを生かし充実への検討を進める。

中小企業振興のための新財団

区は、新たな産業振興の財団を設立するが、区との役割分担や見込まれる成果などが不明だ。観光事業も含め、中小企業振興に向けた将来展望を示せ。

助役

産業界からのまちづくりの視点で区内産業の活性化を図る。

だれもが使いやすいトイレの整備

区施設のトイレをだれもが使いやすいものに改善すべきだ。ベビシートやオストメイト対応設備が未設置の施設では、バリアフリー化を進めよ。

代表質問、一般質問の様子はホームページでごらんいただけます http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/ 議会中継をクリック!



都市整備部長 施設改修などの機会をとらえ計画的整備を検討する。

家庭ごみの夜間収集の実施

家庭ごみの夜間収集は区長公約であり、実験に対する評価も高い。今後は、全区展開を視野に入れたモデル事業として実施せよ。

助役

区民の意見を踏まえ、夜間収集についても総合的に検討する。

猫の不妊去勢手術への補助の拡充

猫の不妊去勢補助は、処分される猫を減らすための大切な施策だ。飼い主への補助に加え、飼い主のいない猫の不妊去勢に取り組みボランティアへの補助も行え。

保健所長

現行の助成制度について、さまざまな観点から検討する。

学校ビオトープの設置拡大

自然環境の少ない都市部では、環境教育の場として学校ビオトープを整備することは有意義だ。地域の協力体制も考慮しながら、区立校への設置を拡大せよ。

教育改革部長

効果や課題を検証し各校への指導、助言を充実する。

民主党・生活者ネット・社民党 世田谷区民連合

山木 きょう子議員

18年度予算編成の重点課題

限られた財源で多様な区民ニーズに対応した区政運営を行うには、区長のリーダーシップが重要だ。任期の最終年度に当たる18年度予算編成での重点課題を示せ。

区長

予防型行政への転換を進め、安全安心のまちづくりに取り組む。

外郭団体改革の一層の推進

外郭団体改革を進めるには、一層の透明性の確保が重要だ。区職員の天下り先とのイメージがある外郭団体について、区からの再就職者リストをつくり、公開せよ。

助役

区民の目線で、外郭団体の経営の透明性向上に努める。

食の安全の確保

食の安全への不安が広がっている。区民に正確な情報を提供した上で、消費者の意見を取り入れながら食の安全確保に取り組み。

保健所長 区民や事業者との情報、意見の交換の充実に一層力を注ぐ。

食育の推進

生活習慣病予防や子どもの健全な発育に有意義な食育への期待は高い。区立小と商店街がともに進める食を通じた健康づくりなど、地域と連携して取り組み。

保健所長

区民に協力を求め、地域特性に合った食育を進める。

安心して預けられる保育の体制

保護者が安心して子どもを預けられる保育を保障すべきだ。保育現場での安全確保の実態把握などに向け、区内すべての保育サービス施設で第三者評価を行え。

子ども部長

既存の苦情審査会などを活用し、サービス向上を図る。

新BOPの運営体制

新BOPの見直しの方向性に対する不安の声がある。保護者の意見を十分に取り入れ、職員の配置体制や質の確保などに区は責任を持って取り組み。

子ども部長

児童、保護者の安全安心の確保を第一に運営に当たる。

発達障害の子どもの支援

自閉症や学習障害など発達障害のある子どもには、成長に合った継続的な支援が欠かせない。就学前と就学後の支援を連携させ、一貫性のある取り組みを行え。

子ども部長

個別支援計画の継続に向け、教育委員会と連携を図る。

高齢者の虐待防止への取り組み

高齢者虐待防止法の成立により、自治体の果たすべき役割が明確になった。高齢者の人権が尊重され、地域で安心して暮らせるよう取り組みを強化せよ。

在宅ケア部長

民生委員や医療機関などと連携して虐待を防止する。

サーマルサイクルの実施理由

区長が、20年度から廃プラスチックを焼却し熱回収するサーマルサイクルの実施を決めたが、安全への区民の不安は大きい。どのような判断で決定したのか。清掃課長は最終処分場を延命する観点で23区総体で判断した。

一般質問

11月29日及び30日の本会議では、27名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

上島 よしもり議員(新保守)

人事政策と給与制度改革

自治体経営の基本は人事政策であり、中でも給与制度改革は重要だ。公平な評価基準を設定し、給与と評価とが合理的に結びつくよう工夫を凝らす必要がある。

電子政府の推進

区は電子政府を目指し、基盤システムの再構築に着手した。どのような着眼点を持ち、どのような道筋で進めるのかを明確に示し、実現に向けて着実に取り組め。

シンククライアントシステムの導入

現在、区立校の教職員は1台のパソコンを複数で共用している。情報漏えい回避や管理コスト抑制などを目的として、パソコンからシンククライアントに転換せよ。

新田 勝己議員(自民)

区立小の授業のあり方

区立小の授業では文言の扱いは特段の注意を払い、児童に誤解を生じさせないことが大切だ。授業内容を複数の教員に確認させるなど、教育委員会は指導せよ。

公園や緑地の整備の推進

都と都内の区市町村は合同で都市計画公園・緑地の整備方針を策定中だ。区の国分寺崖線保全整備条例と整合させ、実施計画が示す水と緑のまちづくりを進めよ。

厚生年金スポーツセンターの買収

国は、今後5年間で厚生年金施設の譲渡または廃止を行う。23区の中でも区民1人当たりの体育施設面積が少ない我が区において、大蔵の厚生年金スポーツセンターを買い取る意義は大きい。区は、資金を積み立てるなど、5年後を見据えて対応せよ。

増改築承諾料の廃止などの要請

国は、国有地に建つ区立校増改築の際には承諾料まで徴収している。支払いを免除されている自治体がある一方で、我が区に多額な承諾料などの支払いを求めるとは不公平だ。義務教育に責任を持つ国に対し、平等な取り扱いを求めよ。

平山 八郎議員(自民)

原田 正幸議員(自民)

都区制度の取組

特別区制度調査会が都区制度の転換に関する報告を発表した。報告の趣旨を踏まえ、都区財政調整の主要5課題も含めた都区制度の転換に、区はどう取り組むのか。

子ども部長

まずは都区財政調整の主要5課題の解決に全力を挙げる。

D型ポンプの水源の周知

区民の自主的な消防活動にD型ポンプは有効な装備だが、道路にある消火栓を水源として使えることは知られていない。周知や実技研修の実施に努めよ。

消防課長

消火栓を使用した訓練を実施するなど、取り組みを充実する。



問

質

一 般

一

あべ 力也議員(区民連)

五十畑 孝司議員(自 民)

大場 康宣議員(自 民)

西崎 光子議員(区民連)

桜井 純子議員(区民連)

高橋 昭彦議員(公 明)

地域防災力の強化

避難所運営訓練では、自主的運営に必要な資機材の情報が提供されないことなどへの不安の声が出された。指摘を真摯に受けとめ、地域防災力の強化に生かせ。

医療費の抑制には、生活習慣病の予防が重要だ。疾病の早期発見と治療に有効な基本健診を、区民が自分の健康への責任を自覚する絶好の機会としても活用せよ。

区内の評判のよい飲食店を観光資源とすべきだ。区のホームページに民間検索サイトの情報とリンクする世田谷おもしろいところマップを設けるなど、工夫せよ。

設立予定の仮称産業振興公社では、女性起業家の支援にも力を注ぐべきだ。ものづくり学校や文生センターと連携し、継続して起業を学べる講座などを企画せよ。

介護保険法改正で新たに地域密着型サービスが制度化された。高齢者が地域で暮らし続けるためのサービスを提供する小規模多機能施設の整備をどう展開するのか。

船橋こども文化村は、地域で子どもの育ちを見守り、すばらしい成果を上げている。子ども健全育成を目的とした地域の自主的な活動を区は積極的に支援せよ。

自動体外式除細動器の普及啓発

心停止者の救命に有効な自動体外式除細動器を区施設などに設置したが、使用法はあまり知られていない。今後は学校への設置や子どもへの普及啓発にも努めよ。

区民の健康維持や疾病予防には、身近なところで相談できる医師の役割が大きい。中高年の生活習慣病の予防に向け、かかりつけ医を重視した施策を進めよ。

我が国を代表する経済団体との連携を通じて、その高い識見などを区政に生かすべきだ。定例懇談会を開催するなど、区と経済団体との関係を構築せよ。

女性が働きやすい環境づくりに、多様な働き方に合わせた保育サービスの提供が不可欠だ。一時保育の拡充と休日保育や年末保育の実施に取り組め。

小規模多機能型居宅介護を展開するには、事業に賛同する区民による支援や地域資源の活用が欠かせない。区は地域の協力が得られるよう、働きかけを行え。

希望丘小では、地域の発案で毎週土曜日に元教員などボランティアによる寺子屋が開かれ、子どもの基礎学力の向上を目指している。区も取り組みを研究せよ。

新BOPの相談機能の充実

新BOPは保護者や子どもとの相談にも対応しており、単なる遊び場開放事業ではない。見直しに際しては、地域での子育て支援の一環として相談体制を充実せよ。

禁煙指導は治療であるとの認識がようやく広まってきた。生活習慣病の抑制に向け、医師会とも協力して禁煙指導に本腰を入れよ。

経済団体、有識者、区民の知識に学び、区政運営に生かす。リサイクルの推進と環境学習

区民一人ひとりが自主的に健康管理を行うには、健康や医療に関する情報提供が重要だ。インターネットを活用するなど、わかりやすい情報提供に努めよ。

区は、庁内の男女共同参画への意識改革を進めるべきだ。関係部署が連携し、女性管理職の登用率の数値目標などを盛り込んだアクションプランを策定せよ。

子どもが意欲的に学んでいると聞いており、成果を期待する。都営住宅の移管受け入れの方針

鈴木 昌二議員(自 民)

佐藤 弘人議員(公 明)

栗林 のり子議員(公 明)

上川 あや議員(虹)

飯塚 和道議員(公 明)

避難所開設の手順

発災時の迅速な避難所の開設は、区民の生命を守る上で最も重要なこと。避難所となる学校などでの、かぎの管理を初めとする開設の手順はどうなっているのか。

区立校では、配慮を要する児童生徒が通常学級でも学べるよう、教員への支援が必要だ。質の高い教育を行うため、教員が専門家に相談できる体制を築け。

成城学園前駅西側の駐輪場の利用者の多くは、駅まで最短距離となることから、横断歩道のないところを渡っており、危険だ。区は、安全対策を講じよ。

歩行の困難な障害者、高齢者に適切な座り方を提供する専門技術「シーティング」の普及が必要だ。区立特養を含む施設、在宅介護の現場では、長期の使用に適さない簡易型車いすが安易に使われており、骨格の変形や関節の拘縮、床ずれにつながる恐れがある。

ぜんそくによる死亡者ゼロを目指すべきだ。発作を未然に防ぐため、生活習慣の改善や日常の服薬管理など、自己管理の動機づけとなる効果的な施策を実施せよ。

視覚障害者向けの防災関連情報が不足しており、いつ起こるかかわからない災害への不安が募っている。点字版や音声版の防災マニュアルなどを早急に作成せよ。

震災時の帰宅困難者対策

区内有数の商業地である二子玉川などでは、震災時に大量の帰宅困難者の発生が想定され、対策が急務だ。避難所での受け入れなどの課題にどう取り組むのか。

通常学級の教員が専門の指導を受けられるよう検討する。心身障害学級の適正配置

コンビニを地域のセーフティーステーションとする動きが本格化している。区も、コンビニなどさまざまな施設を活用し、地域の防犯、防災の拠点とせよ。

区立特養の介護にシーティングを加味し、福祉用具使用者、介護者などに正しい知識の普及を図れ。

視覚障害者向けの防災関連情報が不足しており、いつ起こるかかわらない災害への不安が募っている。点字版や音声版の防災マニュアルなどを早急に作成せよ。

太子堂地域は震災時の危険度が高いとされ、避難場所の確保は極めて重要な課題だ。国立小児病院跡地周辺地域を新たな広域避難場所とするための整備を進めよ。

災害に強い地域社会の構築

発災直後は行政の支援は期待できず、隣近所で助け合うことが最も大切だ。区民の自主的な行動を促すことで地域の防災力を高め、災害に強い世田谷を築け。

建物や免震構造にすれば、家具の転倒などによる被害も防止できる。低コストの施工例を参考に、区施設の新築や改築時の免震工法の導入を積極的に検討せよ。

区立校の生ごみ処理機は莫大な経費を要するが、コンポストの利用が進まない学校もある。費用対効果を検証し、環境教育にも役立つリサイクル方式を検討せよ。

総合福祉センターは、障害者への都内随一とも言えるきめ細かいリハビリで定評がある。指定管理者制度の導入に当たっても、各種事業のきめ細かさは堅持せよ。

太子堂地域への避難場所の確保

避難場所指定に向けた条件整備を着実に進めている。



本文中で使用している省略表記
地域政策部長 地域情報政策担当部長
教育改革部長 教育改革担当部長
生涯学習部長 生涯学習・地域・学校連携担当部長
清掃事務組合 東京二三区
清掃一部事務組合
支所 総合支所

# 次回の定例会は3月上旬から開催する予定です。

議決内容の続き

## 議会日誌

閉会中に開催された委員会  
 10月27日(木) 清掃(視察)  
 28日(金) 福祉  
 11月2日(水) 議運  
 10日(木) 企画、区民、文教  
 11日(金) 福祉、都市  
 14日(火) 分権、オウム(視察)、清掃、交通  
 15日(月) 都市  
 17日(木) 交通(視察)  
 18日(金) 企画、議運

会期中の主な会議日程  
 11月28日(月) 本会議(代表質問、企画、議運)  
 29日(火) 本会議(代表質問、一般質問)  
 30日(水) 本会議(一般質問、議案の付託、請願の付託)  
 12月1日(木) 企画、区民、文教  
 2日(金) 福祉、都市  
 5日(月) 分権、オウム、清掃、交通  
 7日(水) 本会議(議案の議決、請願の付託)、議運

委員会名称  
 議運=議会運営委員会 企画=企画総務委員会  
 区民=区民生活委員会 福祉=福祉保健委員会  
 都市=都市整備委員会 文教=文教委員会  
 分権=地方分権・庁舎問題等対策委員会 オウム=オウム問題・災害・防犯対策委員会  
 清掃=清掃・リサイクル対策委員会 交通=公共交通機関対策等委員会

- 厚生会館 (全員賛成)  
厚生会館の指定管理者を指定した。
- 老人会館 (全員賛成)  
老人会館の指定管理者を指定した。
- 老人保養ホーム (全員賛成)  
ふじみ荘の指定管理者を指定した。
- 身体障害者デイサービスセンター (全員賛成)  
梅丘身体障害者デイサービスセンターほか1施設の指定管理者を指定した。
- 総合運動場 (賛成多数)  
賛成=自民、公明、区民連、共産  
改革派、新保守、虹、無所属  
反対=政策、無党派
- 大蔵運動場及び二子玉川緑地運動場の指定管理者を指定した。
- 千歳温水プール (賛成多数)  
賛成=自民、公明、区民連、共産  
改革派、新保守、虹、無所属  
反対=政策、無党派
- 千歳温水プールの指定管理者を指定した。
- 地域体育館・地区体育室 (全員賛成)  
尾山台地域体育館ほか2施設の指定管理者を指定した。

- 特別区道路線の認定 (賛成多数)  
賛成=自民、公明、区民連、政策、共産、改革派、新保守、虹、無所属  
反対=無党派
- 特別区道路線の廃止 (全員賛成)
- 負担附与の受入れ (全員賛成)  
都から上馬四丁目アパートほか3住宅などを受け入れる。
- 人権擁護委員候補者の推薦 (全員賛成)  
次の候補者を法務大臣あてに推薦することとした。  
松本三樹夫(下馬5-30-2 弁護士 再任)  
萩原 一俊(代沢4-7-16 不動産賃貸 再任)  
箕輪 文江(喜多見7-21-8 公務員 新任)
- 教育委員会委員任命の同意 (全員賛成)  
椋下 聡美 47歳(新任)

## 請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

審議が終わったもの  
採択したもの 3件

賛成多数 共産、無党派、新保守、虹、無所属  
反対=改革派

○都市計画税の軽減措置の継続につき意見書等の提出を求める請願

○小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置の継続につき意見書等の提出を求める請願

○負担水準が65%を超える商業地等の税額軽減措置の継続につき、意見書等の提出を求める請願

◆取り下げを承認したもの 3件 (全員賛成)

○(仮称)駒場プロジェクト建設計画反対に関する陳情

○野毛3丁目大規模企業保有地の緑地保全に関する陳情

○首都圏大地震に備えて、世田谷区の広域用防災倉庫用地としての土地買上げを求める陳情

◆企画総務委員会に付託 1件  
○社会保障制度の充実と最低保障年金制度の創設を求める陳情

◆区民生活委員会に付託 1件  
○新世田谷清掃工場が稼働する前に周辺地域の土壌中の重金属類調査を求める陳情

◆福祉保健委員会に付託 2件  
○社会保障制度の充実と最低保障年金制度の創設を求める陳情

○学童クラブの維持と充実に関する陳情

◆都市整備委員会に付託 1件  
○野川・仙川沿いの水害対策を求める陳情

## 要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

固定資産税・都市計画税の減免措置等の継続を求める要望書

総務省が行っている本年4月から6月の個人企業経済調査によると、昨年から今年にかけて、業績が好転した個人企業は僅か3.6%であり、これに対し、実に65.9%の個人企業が「業績が悪化した」と回答しています。この調査は、経営基盤の脆弱な小規模事業者の現在の深刻な経営環境の実態を如実に表しています。また、日銀短観においても、日本経済はまだまだ足踏み状態であることが報告されています。

こうした場合、東京都が昭和63年度より実施している、小規模住宅用地にかかる都市計画税を二分の一とする軽減措置が廃止されることになれば、個人企業の経営に更なる打撃を与え、地域経済への悪影響も懸念されます。

また、小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の2割減免措置についても、平成14年度から実施されており、この措置が今年度限りで廃止されることになれば、中小零細企業の経営に極めて深刻な影響を与えることも危惧されます。

さらに、平成17年度に実施された、固定資産税等の負担水準が65%を超える商業地等の税額軽減措



校庭が芝生化された烏山北小

置は、商業地等の過大な税負担を緩和する有効な施策であり、その継続が強く望まれています。よって、世田谷区議会は、地域の活性化を高める立場から、社会の活性化を高める立場から、貴職に対し、次の事項を実施されるよう要望いたします。

1. 小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置を引き続き平成18年度以降も実施すること。  
 2. 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置を引き続き平成18年度以降も実施すること。

3. 負担水準が65%を超える商業地等の税額を、負担水準65%の場合の税額まで軽減する措置を引き続き平成18年度以降も実施すること。

平成17年11月18日  
 東京都知事 あて

○区議会定例会は、3、6、9、11月の年4回開かれます。傍聴にお越しになり、直接会議をごらんになつてはいかがですか。また、本会議や予算・決算特別委員会の様子を、区役所第1、第3庁舎、総合支所、文化生活情報センター内の市民活動支援コーナーで生中継しています。

○目の不自由な方のために、区議会だよりのテープ版を発行しています。お知り合いでご希望の方がいらつしやいましたら、ご連絡ください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。  
 TEL(五四三)一一一代表  
 FAX(五四三)三三〇三〇

編集後記  
 ○今定例会では、32名の議員が、災害対策の充実や清掃事業への取り組みなど、区政のさまざまな

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録(2月下旬発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。